



学校だより 穂波平

令和6年度 第5号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「主体的に行動する生徒」
●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

「充実した2学期にするために」 校長 佐藤 哲洋

34日間、皆さんにとってどのような夏休みだったでしょうか。今年も暑い日が続きましたから、体調管理には苦勞したことと思います。そんな中、今年の夏はパリ五輪が開催され、熱い闘いが繰り広げられました。私はパリ五輪をテレビで観戦して、若いアスリートの活躍、若い力の躍動に勇気や元気をもらいました。

スケートボード女子ストリートで金メダルを獲得した吉沢恋(よしざわここ)選手の活躍もその1つです。吉沢選手のスケートボーダーとしての技術はもちろんですが、五輪後の様々な場面でのインタビューへの対応や返答にも関心させられました。吉沢選手は14歳、中学3年生です。14歳の少女が五輪で優勝し、堂々とインタビューに対応している姿に驚くとともに、頼もしさを感じました。そんな吉沢選手のことで印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、「自分はすごい才能はないけれど、反復練習でうまくなった。」という言葉です。このことは吉沢選手のコーチである寺井さんも「他の人が1か月でできる技を、吉沢選手は半年かかってできるようになる。吉沢選手のすごいところは、諦めないで同じ練習を繰り返してできるところだ。」と話していました。同じ練習を繰り返しやることは単調で、飽きてしまいがちです。吉沢選手の反復練習を継続する力が金メダルに繋がったのだと思います。

2つ目は「自分が誰かに夢を与えられるような存在になりたい。憧れを抱かれる選手になりたい。」という思いをもって五輪に臨んだということです。自分のことだけでなく、他の人の存在を意識して取り組んでいるということ、次の世代に繋いでいこうと考えて行動していることに吉沢選手の精神面の強さを感じました。

皆さんと同じ中学生の吉沢選手から学ぶことは多いと思います。目標に向かって努力を継続すること、自分の行動が他の人の模範になったり、良い影響を与えたりするということを意識することなど、皆さんの生活にあてはめて考えて、活動することが自分の生活を良くすることに繋がると思います。

今日から2学期の活動が始まります。2学期には四魂祭文化の部、体育の部という大きな行事があります。また、3年生は進路決定という大切な時期を迎えます。そして、1・2年生は生徒会活動、部活動等で3年生からのバトンを引き継ぎます。四中生一人一人が目標をもって努力を惜しまず活動し、後輩が憧れる先輩に、小学生から目標とされる中学生になってほしいと思います。

皆さんの2学期の生活がこれまで以上に充実したものになることを期待しています。2学期もよろしくお願いいたします。



【令和6年8月27日 2学期始業式より】

感動をありがとう

6月22日にスタートした中体連大会やコンクールでは、見事に目標を達成した部もあれば、あと1点に涙を流した部もありましたが、どの部の生徒も、仲間とプレー（演奏）ができること、相手校と真剣勝負ができることを楽しんでいるように見えました。部活動で培った力を、これからの生活に生かし、最後まであきらめず、夢をつかみ取りましょう。



地域防災訓練 8月25日…宮原・青木・青木平 9月1日…大中里・淀橋・外神 11月…淀師

8月8日（木）に宮崎県日向灘を震源とする最大震度6弱の強い揺れを観測したことから、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。地震発生から2週間が経ち、災害に対する備え、心構えは同じように保っているでしょうか。地域の住民としてできること、中学生だからできることを、この機会に

きちんと考え、地域の一員として頼られる存在となれるように、意識を高くもちましょう。



【教諭の復帰について】

5月よりけがの治療のため特休を取得していました望月浩司教諭が、8月5日に復帰いたしました。3年1組学級担任及び、3年生理科を担当いたします。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。